B-8 「竹を学校や地域で循環させてコトづくりに挑戦！」

～地域資源としての竹の利活用～

講義担当：スパイスアップ SOZAi 循環 Lab

講座対象者	□小学校低学年 ■小学校中学年 ■小学校高学年 □放課後施設利用児童 ■中学生 ■高校生 ■大学生 ■地域一般		
授業活用例	竹を学校や地域で循環させてコトづくりに挑戦しよう！		
関連のある SDGsのゴール	主：12 副：2,6,7,8,9,11,13,14,15	オンライン授業	□可 ■不可
対応可能曜日	■平日 ■休日 □その他（ 曜日）		
対応時間	8：30-17：00 ※時間外も応相談		
年間実施上限数	4 セット		
講座実施方法 ※（ ）は場所等	■講義（教室で、プロジェクタを使って当方が説明し、質疑応答型で進めます） ■ワークショップ（屋外や室内で、数人ずつのチームを組んで作業します） ■自然体験（地域の竹林に出向いて、竹を間伐します）		
講座所要時間	プログラム 0～5（講座内容をご参照ください）のいずれも各 80 分/回		
実施条件、必要な準備等	・プログラム 0 は必須、6 の実施を目標に 1～5 から 1 つ以上選択ください。 ・竹を切る際に鋸を使います。竹の炭化は消防署への火災発生届が必要です。		

講座内容

【目的とねらい】
日本古来、身近な竹。かつてタケノコの産地であった横浜には今もなお小さな竹林がたくさんあります。しかし竹の利用が減った現代においては「放置竹林」が社会問題化しています。本講座では、厄介者扱いされる竹の価値をみんなで見直し、自然・脱炭素・サイエンス・アート・ものづくりの多面的アプローチで、地域や学校に新たな発見や感動を生む「コト」をみんなでつくります。

【特徴】※0～6 すべてを実施した場合
・竹の生態、時代背景、多様な活用法等、竹の包括的知識習得
・モノづくりやアート表現を通した発想力・創意工夫の体験
・自分の行動がよりよい環境や人々の感動につながる実感

【プログラム】
※0 は必須、6 の実施を目標に 1～5 から 1 つ以上選択
0. 竹と竹林について知る・調べる・考える（教室）
1. 竹を地域の公園等から切り出す（竹林）
2. 竹を切る・割る（竹林 or 校庭 or 図工室）
3. 竹でモノづくり（教室 or 図工室）
4. 竹を炭化（炭焼き）する（校庭や花壇など）
5. 竹炭墨汁を作ってアートに挑戦する（教室 or 図工室）
6. 学校や地域のイベントに参加する or 主催する

問合せ先（団体名：スパイスアップ SOZAi 循環 Lab
メールアドレス： sozaijunkanlab@gmail.com）